

正校

上田文齋著
小學人體問答

二篇

全

175
2
52
一册
五號
五架
函

第九

K11049
5.5b

K110.49

5.5b

書影川鏡之證

文部省
通達
第...号

正校 小學人體

問答
宗
論
藏

人體
論
藏

此解剖生理ノ科ハ鑿術ノ為ノミナラス又其
人ノ為ニ必ス缺可カラザルノ教典トス抑此
學ハ其精神ニ關ルヨリモ形態ニ係ルヲ多ク
且ツ諸學ノ裨益ヲ論ズルニモ亦此學ニ優ル

新及ビ

遺漏ヲ補綴ス可キ者トス

其體裁及ビ問答モ亦

編ハ人身内部形器名

外部

人體論藏

人體論藏

凡例

明治九年五月十一日 版權免許

上田文齋著 二篇

校正 小學人體問答

大坂 威書堂發兌

校正 小學人體問答 二編

凡例

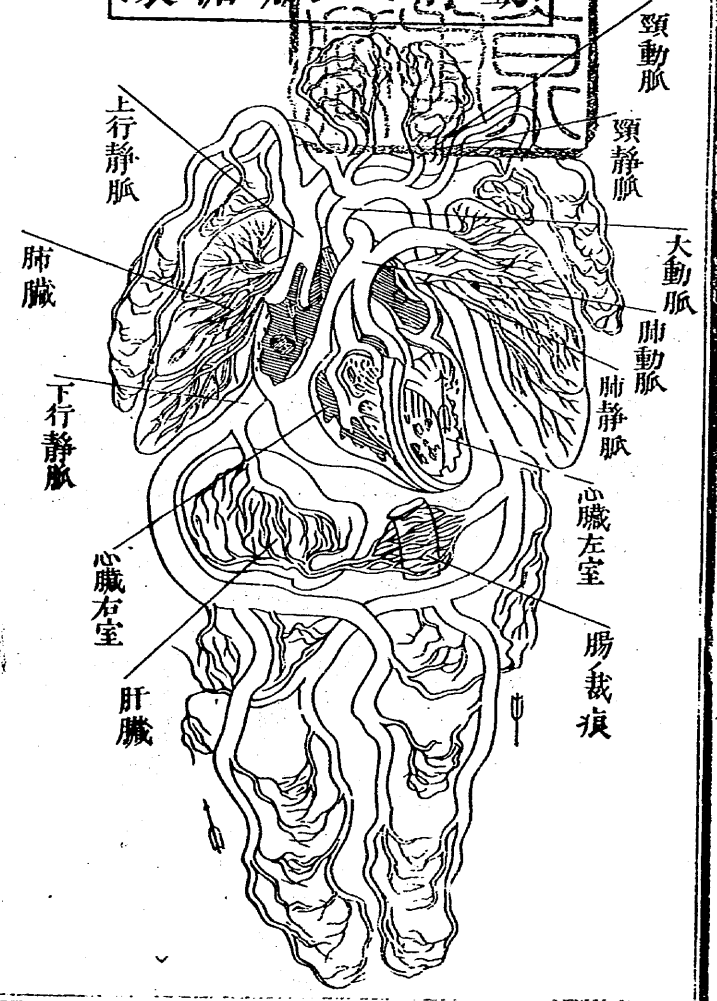
一 不佞兼ニ人體問答ヲ著スト雖ヒ唯人體外部ノ名称ヲ論スルニ止リ此編ハ人體内部器官及生理ノ義ヲ論ズ其體裁及シ問答モ亦又前編ノ遺漏ヲ補綴ス可キ者トス

一 此編生理ノ科ハ醫術ノ為ニミナラズ又其人ノ為ニ必ス缺可カラザルノ素速トク抑此學ハ其精神ニ關ルヨリモ形體ニ關ルト多ク且ソ醫學ノ裨益ヲ論ズルニモ亦此學ノ優ル

凡例

二編

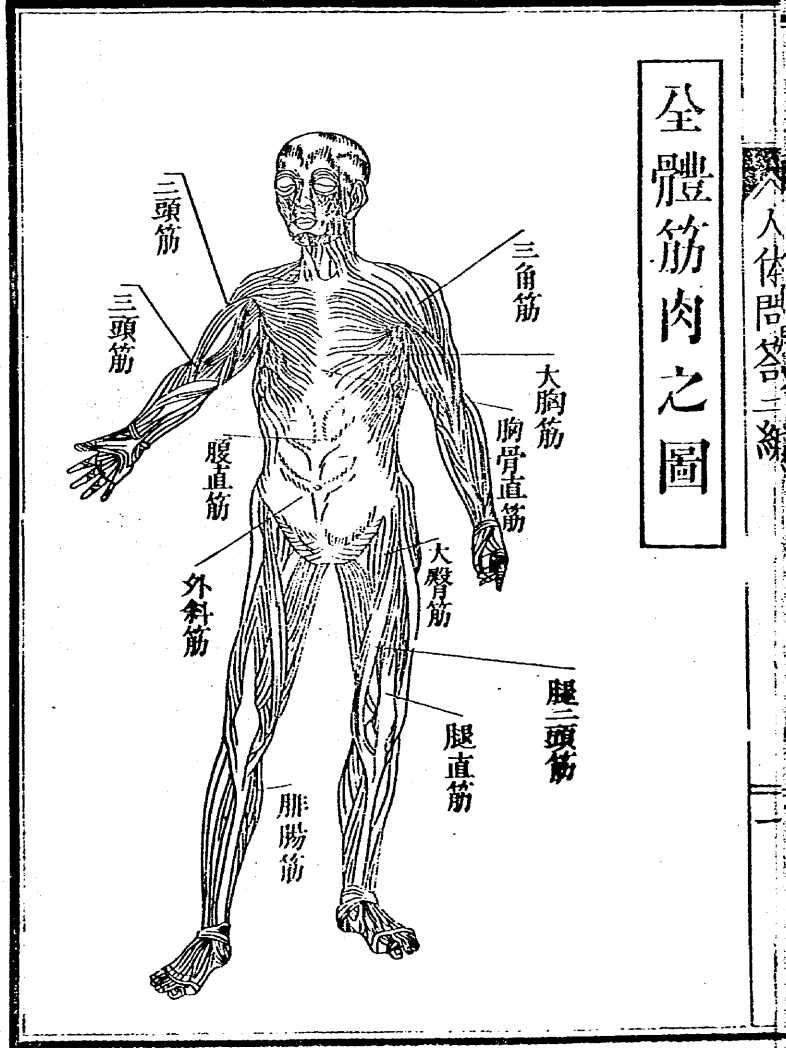
動物靜脈循環環



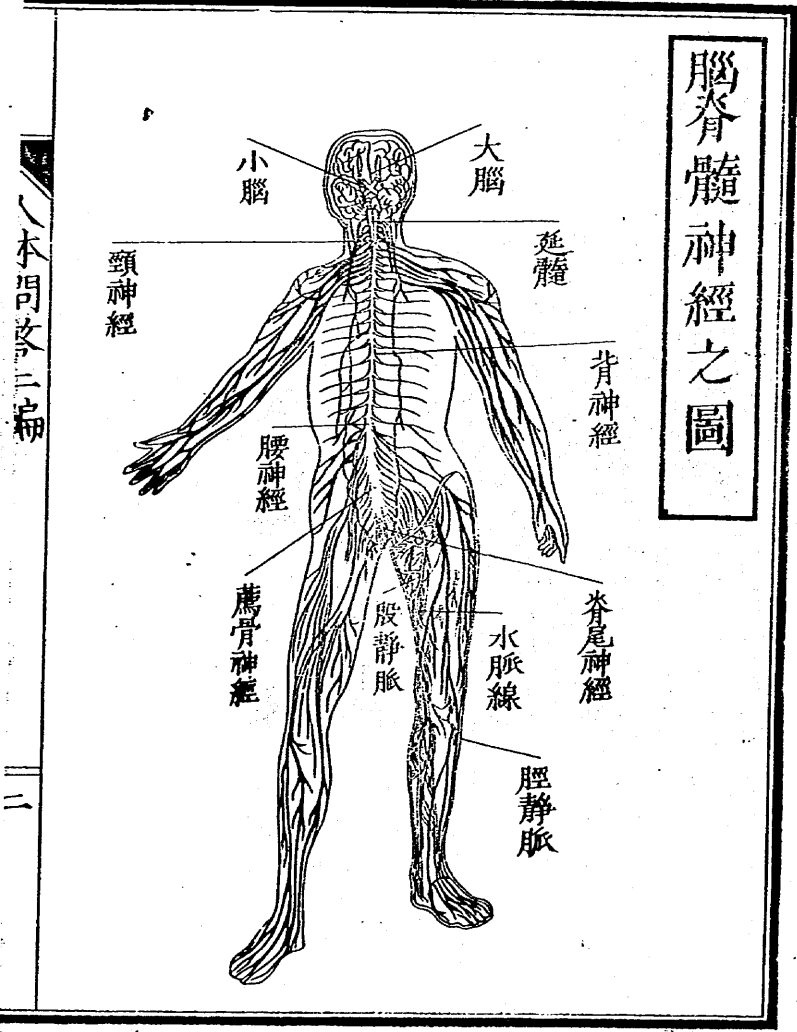
大田文齋

ノ本居キニ為
 者ナキヲ以テ必ス他ノ諸學ヨリモ篤ク人ニ
 誨ユ可キノ科トス然レ此書幼童ノ讀本ナレ
 バ其最要ナル大意ヲ喻シ解剖學生理學ノ楷
 模タル者ナリ
 于時明治九年第二月
 上田文齋 誌

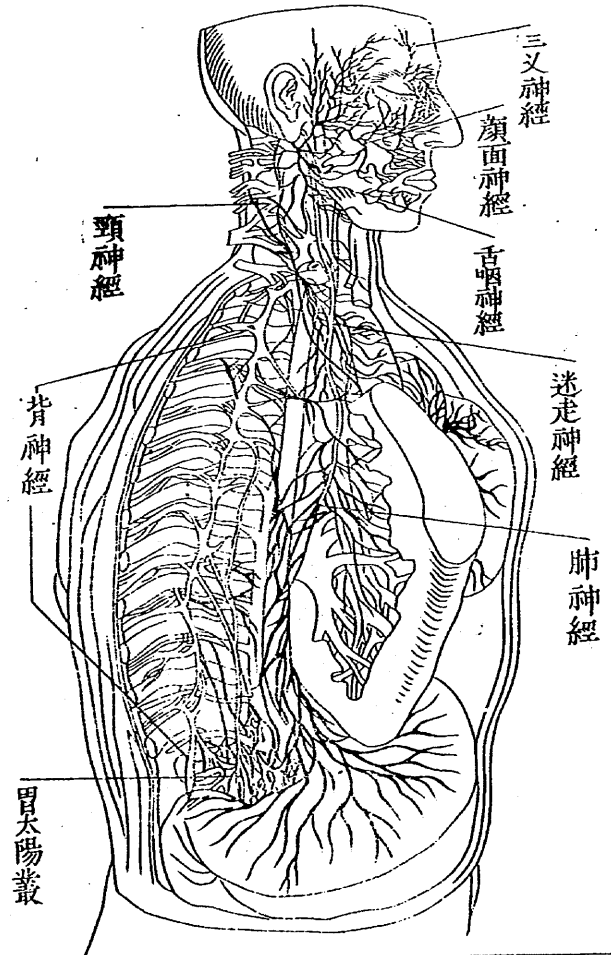
全體肌肉之圖



腦脊髓神經之圖



交感神經之圖



正校 小學人體問答二編

第一章

○解剖學トハ何ヲ云ヤ

人身ノ骨骼臟腑ノ位置脈管神經等ノ形状

ヲ詳ニ識ルノ學ヲ云フナリ

○生理學トハ何ヲ云フヤ

人身ノ生活スル景況及ヒ成長運動ノ理ヲ

上田文齋 輯録

本月二編

詳識スルノ學ヲ云フナリ

○生活官能トハ何ヲ云フヤ

肺臟ノ呼吸又胃臟ノ飲食消化ノ官能ヲサ

シテ云フナリ

○人ヲ動物ノ靈長トハ何ヲ以テ云フヤ

人ニ於テハ仁義禮智信ノ五常ヲ務ムト雖

モ禽獸ニ於テハ此務ナク唯猛畏ヲ存スル

ノ三故ニ人ヲ動物ノ靈長ト云ナリ

○人ニ賢者ト愚者トアルハ何ソヤ

其人ノ精神力充分スルト充分セザルトノ

違ナリ然ト雖モ學問ヲ勉強スル片ハ愚者

ト雖モ賢者ニ及ブヘシ

○衛生學トハ何ヲ云フヤ

我物出入ノ會計ヲ知ズシテ適其疾病ノ變

ト健全ノ常トヲ鑒別スルヲ能ハサレハ假

令勸業ヲ營ムト雖モ復何ノ要ナシトス

○疾病ノ變ハ何ヲ以テ知ル可キヤ

□解剖生理ノ學ナリ喻ヘハ解剖學ハ我生命

ノ屋宅ノ如シ生理學ハ其構造ノ官能ヲ檢

索スルノ學ナリ故ニ此學ヲ修業スルキハ

自ラ明亮ニ識ルナリ

○解剖學ハ幾部ニ大區別シテ云フ可キヤ

□分テ拾部トス

拾部トハ何ヲサシテ云フ可キヤ

□骨骸

鞆帶

筋

營養器

脈管

呼吸器

泌尿器

生殖器

神經

五官等ヲ云フナ

○骨骸トハ何ヲサシテ云フヤ

□全身二百八骨ヲ云フナリ此他齒牙卅二枚

○鞆帶トハ何ヲサシテ云フヤ

□骨骸ノ關節ヲ接續スルニ扁平纖維ヲ組會

シテ圍繞スルモノヲ云ナリ

○筋トハ何ヲサシテ云フ可キヤ

□皮膚ニ存スル肉ノナリ故ニ筋肉ト云フ

○營養器トハ何ヲサシテ云フ可キヤ

□胃腸ノナリ此二臟ハ食物ヲ消導シテ全

身ヲ營養スル器械ナリ

○脈管トハ何ヲサシテ云フ可キヤ

□動脈 靜脈 水脈 等ノ循環ヲ云ナリ

○呼吸器トハ何ヲサシテ云フ可キヤ

□喉頭ヨリ氣管肺臟ニ到テ空氣ヲ呼出吸吞

スルノ器械ヲ云ナリ

○泌尿器トハ何ヲサシテ云フ可キヤ

□腎臟ニ於テ血中ノ水分ヲ吸收シ尿ヲ製シ

輸尿管ヲ經テ膀胱ニ溜留シ尿道ニ排泄ス

ルノ器械ヲ云ナリ

○生殖器トハ何ヲサシテ云フヤ

□男子ニ在テハ睾丸及ヒ精囊ノ官能ヲ云ヒ

女子ニ在テハ膈子宮喇叭管卵巢等ヲ云フナリ

第二章

○人體ヨ形容スル最要ナル器械ハ何ヲ云ヤ
骨骸ナリ此骨ハ其質硬ク身体ノ内部ニ
造シテ形容ヲ定メ且ツ重要ナル器械ヲ護
リ又筋肉附着ノ點トナル猶家ニ柱梁ノ有
ガ如シ

○骨骸ハ幾部ニ大區別シテ云フ可キヤ

□分テ拾部トス

○拾部トハ何ヲサシテ云フベキヤ

□頭骨 八枚 面骨 十枚 舌骨 一枚 耳内小骨 八枚

脊椎骨 二十四枚 胸骨 一枚 肋骨 左右 十二 尻盤骨 四枚

上肢骨 左右 三十二 下肢骨 左右 三十 等ヲ云ナリ

○頭骨 八枚トハ何ヲサシテ云フヤ

□額骨 一枚 顳頂骨 二枚 後頭骨 一枚 顳額骨 二

一枚 蝴蝶骨コノボネ 一枚 篩骨シボネ 一枚 等トウ云イフナリ

○面骨メンコツ十四枚トハ何ナニヲサシテ云イフヤ

□上顎骨ジヤウカクコツ二枚 顴骨クワンコツ二枚 鼻骨ビコツ二枚 淚骨ルイコツ二枚 口コウ

蓋骨ガイコツ二枚 下海綿骨カクイメンコツ二枚 鋪骨ソウコツ一枚 下顎骨カクコツ一枚

等トウ云イフナリ

○舌骨セツコツ八何イツレニ在アルヤ

□舌骨セツコツハ一枚ニシテ舌ノ深部シンブ二位ニイシ顙額骨セツシエコツ

ノ錐顙突起チイコツニ連接レンセツスル者モノナリ

○耳内小骨ジナイセウコツ八枚トハ何ナニヲサシテ云イフヤ

□槌骨ツイコツ二枚 砧骨チシコツ二枚 小珠骨セウジュコツ二枚 馬鐙骨バトウコツ二枚

等トウハ耳中ジチュウニ在アリテ音響オンキヤウヲ調度テウドスル骨ホネナリ

○脊柱骨セキナウコツ二十四枚トハ何ナニヲサシテ云イフヤ

□頸椎ケイスイ 脊椎ハイズイ 腰椎ヨウスイ 等トウ云イフナリ

○尻盤骨キリバンコツ四枚トハ何ナニヲサシテ云イフヤ

□薦骨センコツ 脊尾骨セキビコツ 魚名骨イナメコツ等トウ云イフ無名骨ムナイコツ

一名胯骨イナメコツト云イフ又前陰マタベンインニ當アル所トコロヲ耻骨チコツ

云フ

○胸骨タウコツ一枚トハ何ヲサシテ云フヤ

□胸ノ正中ニ在テ其形状ソノケイダウケン似タリ故ニ上ウヘ

部ヲ手鞆ト云ヒ中央チュウウヲ刀身ト云ヒ下ゲ端タンヲ

尖端センタン或ハ鳩尾トウビト云フナリ

○肋骨リブコツ二十四枚トハ何ヲサシテ云フヤ

□左右各十二枚ナリ此骨前ハ胸骨ニ連接シ

後ハ背骨ニ關接スルナリ

○上肢骨ジョウシコツ六十四枚トハ何ヲサシテ云ヤ

□鎖骨サコツ二枚 肩胛骨ケンカケコツ二枚 上臂骨ジョウウレコツ二枚 下臂骨ゲヒコツ二枚

腕骨ワンコツ十六枚 腕前骨ワンゼンコツ十枚 指骨シコツ左右各十四枚

等ヲ云フナリ

○腕骨ワンコツ十六枚トハ何ヲサシテ云ヤ

□船様骨フナサマコツ二枚 羊月様骨ヨウゲツサマコツ二枚 楔状骨ケツサマコツ二枚 黎豆リトウ

骨コツ二枚 不正四角骨フゼイシカクコツ二枚 不正四角様骨フゼイシカクサマコツ二枚

巨骨キヨコツ二枚 鉤状骨コウサマコツ二枚 等ヲ云フナリ

○下肢骨六十枚トハ何ヲサシテ云ヤ

□大腿骨二枚 膝蓋骨二枚 脛骨二枚 腓骨二枚

跟骨二枚 距骨二枚 骰子骨二枚 船樣骨六枚

楔狀骨六枚 跗前骨十枚 趾骨二十八枚 等ヲ云

ナリ

○齒牙三十二枚トハ何ヲ云フヤ

□前齒四枚 犬齒二枚 小齒齒四枚 大齒齒六枚

上下合シテ三十二枚ナリ

第三章

○全身ノ肉ハ何ノ作用ヲ為スヤ

□筋叢中ニ血液ヲ含蓄シテ赤色ヲ呈シ彼ノ

骨骸ヲ圍繞シ人身固有ノ容貌ヲ形成スル

モノナリ故ニ筋肉ト云

○筋肉ハ何ニ由テ骨骸ニ附着スルヤ

□筋肉兩端ノ腱ヲ以テ骨骸ニ附着スルナリ

○筋肉ノ最モ廣ク厚キ處ハ何ト云ヤ

□ 筋肚キンダト云フナリ

○ 肩隅ケンクニ在アル筋キンハ何ト云ヤ
カタサキ

□ 三角筋サンカクキント云フナリ

○ 膊ハクニ在アル筋キンハ何ト云フヤ
カタサキ

□ 二頭筋ニトウキント云フナリ

○ 肘チウニ在アル筋キンハ何ト云フヤ
カイチ

□ 三頭筋サントウキント云フナリ

○ 胸キョウノ真中マシナカニ在アル筋キンハ何ト云フヤ
カタサキ

血筋

□ 胸骨筋キョウコツキント云フナリ

○ 胸骨筋キョウコツキンノ兩傍リョウバウハ何ト云フヤ

□ 大胸筋ダイキョウキント云フナリ

○ 渡ワタノ真中マシナカニ在アル筋キンハ何ト云フヤ

□ 腹部直筋フクブチキント云フナリ

○ 腹部直筋フクブチキンノ兩傍リョウバウハ何ト云フヤ

□ 外斜筋ガイシヤキント云フナリ

○ 無名骨部ムメイコツブヨリ大腿骨ダイタイコツニ及オヨブ處トコロノ筋キンハ何ト云
フシボネ

人良長卷二第

フヤ

□ 大腎筋ト云フナリ

○ 大腎筋ノ下部ハ何ト云フヤ

□ 腿ノ二頭筋ト云フナリ

○ 腓骨部ニアル筋ハ何ト云フヤ

□ 腓腸筋ト云フナリ

○ 筋肉ハ何ノ作用ヲ主ドルヤ

□ 身體ノ大部ヲ成シ美艶ナラシメ且ツ運動

ヲ生ズルヲ以テ其主任トス

○ 筋肉ハ運動ノ主宰ナルヤ

□ 筋肉ハ其質柔軟ナルニ由テ物体ノ衝撞及

ヒ墜落ノ力ヲ殺以テ骨骸ノ損傷ヲ豫防ス

ル副能アルモノナリ

○ 人身ノ力ハ何ヨリ生ズルヤ

□ 筋肉ハ收縮及弛縦ノ性ヲ固有シ神經ヨ

リ受ル刺衝ニ因テ奮起スル者ナリ

第四章

○性命ノ器械トハ何ヲサシテ云フヤ

□肺胃ノ二臟ヲ云フナリ

○肺臟ハ何ノ作用ヲ為ス者ナルヤ

□全身ニ循環シタル血液ヲ新陳代謝スルノ

器械ナリ

○胃臟ハ何ノ作用ヲ為ス者ナルヤ

□胃臟中ニハ一種ノ液ヲ生ジテ食物ヲ融ユウ化カ

醸熟スルノ器械ナリ

○融ユウ化カ醸熟シタル食物ガ何ノ作用ニ由テ人體

ヲ營養スルヤ

□胃臟ニ於テ醸熟シタル食物腸ニ輸送スル

ヤ胆汁脾液ヲ以テ調和シ此液ヲ腸解ヨリ

吸収シテ滋養スル者ナリ

○新陳代謝トハ何ヲ云フヤ

□全體ヲ滋養シ終ル處ノ液ハ氣狀ト成テ皮

表ニ蒸發シ餘殘ノ糟粕ハ糞トナリ肛門ニ
排泄シ又新ニ飲食ヲ口ヨリ取ルヲ云フナ
リ

○自分ニ飢餓ヲ覺ユルノ理ハ如何

胃腸ハ原ト食物ノ内實セルヲ以テ常候ト
ス故ニ飲食腸ニ下リ胃中空虚トナレハ隨
テ異常ノ感應ヲ起シ是ヲ胃ノ神經ヨリ意
識神經ニ傳ヘテ飢餓ヲ覺ルモノナリ

○飲食ヲ饜ト云ハ如何

飲食適宜ノ量ニ至レハ胃府隨テ膨滿シ内
實ノ感應ヲ覺ユル者ナリ

○咽口ノ渴スル理ハ如何

血中ノ水分漸ク費耗スレバ諸液ノ分泌モ
隨テ減少シ體中ノ形器其為ニ枯燥スル者
ナリ

○聲ハ何ヨリ生ズルヤ

聲ハ氣喉ヨリ發ス此氣喉ニハ一處ノ罅裂

アリ此ヲ聲門ト云ナリ

○血液ハ始メ何ヨリ運行スルヤ

□心臟ノ左室ヨリ始メ大動脈ヲ循リ頭部手

足ノ細脈末梢ニ終リ是ヲ靜脈末梢ニ吸收

シテ大靜脈ヲ過テ終ニ心臟右室ニ飯ルナ

リ此ヲ血脈ノ大循環ト云

○小循環トハ何ヲ云ヤ

□血液心臟ノ右室ヨリ肺臟中ヲ循リ心臟ノ

左室ニ到ルヲ云フナリ

○人身血液ノ量ハ尋常何程アルヤ

□壯健ノ人ニ於テハ其全量大約十四比アリ

即チ本邦ノ四外五合餘ナリ

○動脈血ト靜脈血ト其色同ジキヤ

□動脈血ハ鮮紅色ニシテ靜脈血ハ稍紫黑色

ヲ帶ルモノナリ

○人體ノ温暖ハ何ヨリ生ズルヤ

□血液ノ運行ニ因テ生ズル者ナリ

○人體ノ温度ハ何度ヲ常温トスルヤ

□攝氏寒暖計ノ三十七八度ヲ常温トス

○攝氏ノ寒暖計トハ何ヲ云フヤ

□硝子管ニ水銀ヲ盛り冷度ト温度トヲ百度

ニ分チタル器械ナリ華氏ノ寒暖計ハ是ヲ

二百十二度ニ分配ス

第五章

○神經ハ幾部ニ大區別シテ云フヤ

□分テ甲乙二種トス

○甲乙二種トハ何ヲサシテ云フヤ

□甲種トハ腦神經一名五官神經ト云フ

乙種トハ脊髓神經一名運化神經ト云フ

○腦神經ハ何ヲ主ドルヤ

□五官神經ノ起原ナリ

○腦神經ハ何程アルヤ

□左右各十二對アリ

○十二對神經トハ何ヲ云フヤ

□第一對 嗅神經 第二對 視神經 第三對 動眼神經 第四對 滑

車神經 第五對 三叉神經 第六對 牽引神經 第七對 顏

面神經 第八對 聽神經 第九對 舌咽神經 第十對 迷走

神經 第十一對 副神經 第十二對 舌下神經 等ヲ云

フナリ

○脊髓神經トハ何ヲサシテ云フヤ

□小腦ヨリ延髓ニ起リ脊柱ヲ循リ薦骨脊尾

ニ到ル神經ヲ云フトリ

○脊髓神經其數何程アルヤ

□左右各三十一對ナリ

○三十一對トハ何ヲサシテ云フヤ

□第一對 頸神經 八對 背神經 十二對 腰神經 五對 薦骨神

經 五對 脊尾神經 一對 等ヲ云フナリ

○ 腦ナウハ 大區ダイク別ベツシテ 何ナニト云イフヤ

□ 大腦ダイナウ小腦セウナウト云イフナリ

○ 大腦ナウヲ 大區ダイク別ベツシテ 何ナニト云イフヤ

□ 前葉ゼンエフ中葉チュウエフ後葉ゴウエフト云イフナリ

○ 小腦セウナウハ 何ナニレニ在アリヤ

□ 大腦ダイナウ後葉ゴウエフノ 下底カチニ在アリ

○ 小腦セウナウノ 次ツギハ 何ナニト云イフヤ

□ 延髓エンズイト云イフ即スチ 脊髓セキズイ神經シニケイノ 起原キゲンニ在アリ全體クワンタイ

運動ウツク化育カイクノ 基木キボナリ

○ 腦ナウノ 膜マクハ 何程ナニホドアルヤ

□ 第一ダイイチヲ 堅膜ケンマクト云イフ其次ツギヲ 錐狀膜シュウジヤウマクト云イフ第二ダイニ

ヲ 蜘蛛絲膜クモシマクト云イフ第三ダイサンヲ 軟腦膜ナンノウマクト云イフナリ

○ 五官ゴクワン神經シニケイノ 官能クワンノウハ 何ナニヨリ生オモスルヤ

□ 人體ジンタイノ 外物ガイブツニ 應オウスルヤ 必カナラズ 神經シニケイノ 末端マツタエ其ソノ

物モノニ 抵觸テイショクシ 其ソノ刺衝シヨウヲ 受ウケテ 是コレヲ 腦神經ノウシニケイノ 中ナカ

樞スニ 傳達デンダイスル者モノナリ

○眼^{ガンキョウ}球^{キョウ}ハ幾^{イク}部^ブニ區^ク分^{ブン}シテ云^イヤ

□第^{ダイ}一^{イチ}層^{ソウ}皮^ヒヲ剛^{コウ}膜^{マク}ト云^イ其^{ソノ}前^{ゼン}部^ブニ在^アルヲ角^{カク}膜^{マク}

ト云^イ其^{ソノ}周^{シュウ}圍^{ウイ}眼^{ガン}胞^{ホウ}ニ連^{レン}接^{セツ}スル處^{トコロ}ヲ結^{ケツ}膜^{マク}ト云^イ

第^{ダイ}二^ニ層^{ソウ}ヲ脈^{ミヤク}絡^{ラク}膜^{マク}ト云^イ其^{ソノ}裏^{ウラ}面^{メン}漆^{シツ}黒^{コク}色^{シキ}ナルヲ

蒲^フ萄^{タウ}膜^{マク}ト云^イ第^{ダイ}三^{サン}層^{ソウ}ヲ網^{マウ}膜^{マク}ト云^イナリ

○眼^{ガン}球^{キョウ}中^{チュウ}ノ液^{エキ}ハ區^ク別^{ベツ}シテ何^{ナニ}ト云^イヤ

□前^{ゼン}房^{バウ}水^{スイ}後^ゴ房^{バウ}水^{スイ}及^キビ硝^{セウ}子^シ液^{エキ}等^{トウ}ナリ

○後^ゴ房^{バウ}水^{スイ}ト硝^{セウ}子^シ液^{エキ}ノ間^マニ在^アル者^{モノ}ハ何^{ナニ}ト云^イヤ

□連^{レン}斯^ス或^ニハ水^{スイ}晶^{セイ}體^{タイ}ト云^イナリ

○耳^ジ中^{チュウ}ノ器^キ械^{カイ}ハ何^{ナニ}ト云^イヤ

□鼓^コ膜^{マク}ト云^イフ其^{ソノ}前^{ゼン}部^ブヲ外^{ガイ}聽^{テイ}道^{ダウ}ト云^イ後^ゴ部^ブヲ内^{ナイ}

聽^{テイ}道^{ダウ}ト云^イ此^{コノ}ニ小^{セウ}子^シ骨^{コツ}ヲ連^{レン}接^{セツ}シ其^{ソノ}次^ジヲ半^{ハン}規^キ

管^{カン}ト云^イ其^{ソノ}次^ジヲ蝸^{カウ}牛^{ギウ}殼^{カク}ト云^イナリ

○男^{ナン}精^{セイ}ハ何^{ナニ}ヨリ生^{シユ}スルヤ

□辜^コ丸^{ワン}ニ始^{シマ}リ輸^ユ精^{セイ}管^{カン}ヲ經^ヘテ精^{セイ}囊^{ナウ}ニ貯^{タク}フル者^{モノ}

ナリ



○精囊ハ何ニ在ルヤ

□膀胱ノ底面ニ在リ

○女子ノ子宮ハ孰ニ在ルヤ

□膀胱ト直腸トノ間ニ在ルナリ

○子宮ノ兩傍ニ在ル枝ハ何ト云フヤ

□喇叭管ト云フナリ

○喇叭管ノ兩端ハ何ト云ヤ

□粧總端或ハ剪彩又花又トモ云ナリ

○粧總端ノ次ハ何ト云ヤ

□卵巢ト云フナリ

○交感神經トハ何ヲサシテ云ヤ

□腦ノ十對迷神經ト脊髓神經ト間錯シテ内

臟ヲ主宰スルヲ云假令ハ肺神經又胃臟部

太陽叢ノ如シ

校正 小學人體問答二編 終

K110~4,1b

八休附卷三編

十六

明治九年二月廿七日

同 年三月

同 年五月十一日版權免許

著者

大塚府平氏

上田文



第三大區十三區新町通四丁目

同府平氏

前川善兵衛

第五大區廿三區南久保寺町四丁目

前川宗七

同町支家

出版人

同

御届

出版

